

令和2年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会 議事概要

日時：令和3年2月26日（金）10:00～11:30

場所：WEB会議システムによる開催

出席者：別添名簿のとおり

（●：委員発言）

（1）令和2年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」の取組報告について

事務局から、資料1に基づき説明。意見等なく、一同了承。

（2）「豊かな環境づくり大阪行動計画（案）」について

事務局から、資料2に基づき、主に次のポイントを説明。

- ・運営委員に事前に意見をお聞きした。本日提示の案には、いただいた意見を反映した。
- ・今回の修正の主な趣旨は以下の通り。

1点目は、環境総合計画、温暖化、エネルギー、資源循環、プラスチック問題、食品ロスの行政計画改正を踏まえ、論点を落とし込んだこと。行動テーマのうち「脱炭素への転換」は、地球温暖化対策実行計画（案）で2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを掲げたことを踏まえて修正。「循環型社会の構築」では、サーキュラーエコノミーや大阪ブルー・オーシャン・ビジョンのキーワードを追記。

2点目は、重点項目の大幅な修正。事業者も含めたあらゆる主体の今後の行動や考え方を整理し、従来は具体的な行動を記載していたが、「課題を理解する、関心を持つ」といった意識の方向性も新たに記述した。

また、感染症の影響も踏まえ、WEB会議・オンラインイベントの活用、宅配の効率化なども考慮した。

- ・事前の案に対する運営委員からの意見は以下の2点。

1点目は、省エネ・再エネは家庭だけでなく事業者も対象となることを分かりやすく記載すべきとのご意見。この意見に基づき、16・18番目の表現を修正した。

2点目は、生物多様性について記載箇所が少ないので、生物多様性の危機や重要性の観点を記載すべきとのご意見。この意見に基づき、「自然と調和した地域づくり」や重点項目の24番目の記述を充実させた。

意見・質疑は以下の通り。

- 重点項目の1番目は、エコマーク商品・大阪府認定リサイクル製品・職場でのグリーン購入とあり、「商品」と「購入」が文章中に並立しているのに違和感がある。大事なものは、ラベルをしっかりと確認して買ってほしいということなので、例えば「エコマーク商品や大阪府認定リサイクル認定商品などの環境ラベル表示をよく確認して、職場や家庭でのグリーン購入を徹底する」といった表現にする方がいい。
→（事務局）
表現を検討する。職場のグリーン購入は、ラベルを見て購入する以外にも、業務委託や工事発注における環境配慮も含まれていることも踏まえて修正案を考えたい。
- その通りで、ここにグリーン購入を入れると広がってしまう。エコマーク商品・認定リサイクル製品は、グリーン購入と分けたらどうか。
→（事務局）
重点項目の1番目の文章量が多いので、ご指摘を踏まえて項目を2つに分けて整理する。

- 重点項目の 8 番目は、分別すべき廃棄物はプラスチックごみに限らないので、「資源廃棄物の分別」に修正する方がよいのでは。
- (事務局)

今後当面は地域でプラスチックごみの分別をしっかりと意識付けしたいと考えているという意図。ほかの地域に比べ、生ごみに混じってプラスチックごみが一般廃棄物に混入している現状がみられるため。しかし、今の修正案は分別すべき対象がプラごみだけに見えてしまうので、よりよい表現を検討する。
- 行動計画は年度ごとに見直すので、今年度はプラスチックごみに焦点を当てるということは一定理解できる。
- (事務局)

見え方を含め、よりよい表現を検討する。
- 重点項目の 13 番目は、環境負荷の低い選択を実践するとあるので、1 番目と類似している。違いが明確になるよう表現を見直す方がいい。
- (事務局)

物やサービスの提供に付随して環境負荷がかかるということなので、重点項目の 1 番目と論点が似ている。脱炭素の大きなテーマとして、家庭や事業所以外でも、様々な経済活動で他者と結びつく所で CO2 は出ており、これをどう減らすかが論点と考えて 13 番目で表現しているが、1 項目とのすみ分けが必要と思うので検討する。
- 重点項目の 4 つ目の大きな項目「環境に配慮した移動・輸送手段の選択」は、19～23 番目には移動を減らすということは書かれておらず、より環境負荷が少ない移動手段を選ぶ「モーダルシフト」が扱われていないので追加すべき。
- (事務局)

修正前は、人の移動には公共交通機関を使おうという内容であった。物の輸送でも鉄道輸送などよりよい手段を使うことで負荷を減らすモーダルシフトの視点は表現しきれていない。近年、様々な輸送手段の環境負荷が「見える化」され、選択できるようになってきたので、重要な視点として追記を検討する。
- 行動計画中には、経済的な視点としてサーキュラーエコノミーが出ているが、最近では投資行動の変化 (ESG 投資) が言われており、これを載せる方がいいと思う。
- また、表現が難しい部分があるので、注釈を作って分かりやすくする方がいいと思う。
- (事務局)

投資行動 (ESG 投資) については、取引先で取り組まれていることにまず関心を持つことが重要と考え、その考え方を 14 番目に表現している。

注釈のリンクについては、少し時間がかかるが、ホームページ充実の一環としてやりたい。
- 3R は最近あまり言われなくなっている印象があるが、今後も継続する予定か。
- (事務局)

国の 3R 推進月間と連携する形で、府民会議でも 3R キャンペーンという呼び方で実施している。今後も継続すると聞いており、府としても 3R という表現を使っていく予定。
- 行動計画の全体を通して、「関心を持つ」、「意識を変える」といった項目が見られ、この点が従来の行動計画から変化しているが、このようなことは環境教育の一部とも考えられるので、

SDGs の教育マークをどこかに入れてほしい。

→ (事務局)

SDGs の教育マークは、環境の各分野いずれも関係があるので、府のほぼすべての環境分野の行政計画に SDGs の教育マークを入れようとしている。行動計画では、例えば「府民会議の取組み」の SDGs17 番パートナーシップのマークと並べて記載するなど、検討する。

- SDGs の教育マークを入れるのは大賛成。

(以上の意見を踏まえて事務局で案を修正し、座長が確認することで一同了承。)

(3) 令和 3 年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」の取組みについて

事務局から、資料 3 に基づき説明。

- 女性や子供も参加可能なプログラムがいくつかあるが、募集の依頼をいただいてから募集するのに時間を要するので、案内を早目にいただけると助かる。運営委員の各団体とも横のつながりを形成したいので、そのようなことも計画いただけると助かる。

→ (事務局)

事業の企画については、大体の予定を決めていき、おおよその見通しがついた時点で情報メールなどを活用して、こまめにお知らせしていきたいと考えている。

- 学校から事業に応募することがあるが、学校では 4 月頃に年度計画を立てるので、年度途中(例えば 7 月)に募集があると、年度計画に乗りにくいと思う。応募数を増やすためには、予告でもいいので、年度のはじめに依頼があれば、年度計画に入れやすくなる。

→ (事務局)

年度の当初に、年間の事業概要の情報提供をするなど、工夫する。

- 大阪府が後援するイベント、キャンペーンの記載があるが、どのような基準で後援を決定しているのか。

→ (事務局)

後援名義申請書を提出いただき、各部署で制定している要領に照らし、一定の基準を満たしていれば後援することとしている。例えば府の行政目的に合致するか、最近ではコロナ対策を適切に行っているかなど、申請時に確認させていただいている。

- 多くの団体がイベントを行っていると思うが、府の後援名義が応援手段にもなるので、後援の制度を周知していくことも大事と思う。

→ (事務局)

後援名義の制度の周知について検討する。現在、資料 3 に掲載の各種事業の実施に向けて各種調整を行っているところなので、情報は随時出していきたい。